

## 12月21日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●「私らはいいわよ、でも子どもたちは？」(ドネツク、2022年12月16日)

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1603698768863715330?t=mCCLZKHRzvDINbpgVQzaMw&s=09>



### ●ノヴァハの住民の証言(2022年12月16日)

ウクライナ軍の砲撃で家が壊され、家族とともに砲撃を逃れて12日間、地下壕暮らしを余儀なくされたと語る。

<https://twitter.com/i/status/1603699069762813952>



### ●プーチンの支持率は78.3%(2022年12月)

プーチン大統領に対するロシア人の信頼度は、先週78.3%に達した、と全ロシア世論調査センターが発表した。

信頼に関する質問では回答者の78.3%が肯定的に答え、大統領のパフォーマンスへの承認レベルは74.3%であった。

世論調査は12月5～11日に行われ18歳以上のロシア人、計1,600人が参加した。



※安齋注:この種の世論調査は数字を聞いただけでは信憑性がありませんね。日本では複数の新聞社や放送局が個別に調査をやって相互に概ね矛盾がないというようなことで全体的傾向を確認できますが、ロシアのこの数字だけでは「政策誘導的世論調査」の疑いも拭き切れないでしょう。他の情報との無矛盾性をおいおい確かめましょう。

## ●プーチン大統領、インドのモディ首相と電話会談(2022年12月17日)

プーチン大統領は、インドのモディ首相と電話会談を行った。両首脳は、相互投資、エネルギー、農業、輸送、物流などの分野における実用的な協力の展望について詳細に議論し、戦略的パートナーシップに満足感を表明した。



## ●ロバート・F・ケネディ Jr 氏のツイート(2022年12月17日)

「この60年で最も勇気あるニュース番組。CIAによる叔父(ジョン・F・ケネディ大統領)の殺害はクーデターの成功であり、そこから民主主義は回復していない。」と、タッカー・カールソンを賞賛している。



※安齋注:ウクライナ問題についても歯に衣着せぬ論評で人気のタッカー・カールソンを褒めたロバート・ケネディ Jr のこのコメント、すぐ消されてますね。

## ●ゼレンスキーのぼやき(2022年12月17日)

「プーチンと座って交渉しようという人がいるのは知っているが、何を話し合えばいいのかわからない。彼は自分のビジョンに対応した平和を望んでいるが、私たちのビジョンはまったく違う。メンタリティーが違うからだ」。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1604013888340885504?t=de7txZJLL2E6478c3AjVkg&s=09>



メンタリティ  
精神構造や気質、物の考え方、精神性、心性、知性、考え方、ものの見方、性向、性格など。「メンタリティが違う」と言っただけじゃ何を言いたいのか不明です。どこがどう違うのかをちゃんとと言わなくちゃ。

### ●ゼレンスキーはモスクワとの会談を促されている(2022年12月17日)

ゼレンスキーは、モスクワとの会談に応じるよう促されていることを認めた。「交渉のテーブルに着くようにと催促する人もいる。—しかし、話の主題が見えてこない」。金曜日にフランスのテレビ局 LCI とのインタビューでこのように述べた。



### ●作戦本部のプーチン(2022年12月17日)

プーチン大統領は作戦本部での会合で、特別軍事作戦の当面の行動と中期の行動に関する提案に耳を傾ける用意があると述べた。

また、特別軍事作戦の各作戦区域の司令官から話を聞いた。ショイグ国防相、グラシモフ参謀総長、スロヴィキン現地統合軍司令官が出席した。

プーチン大統領は、特殊作戦の次のステップに関する軍司令官の提案を聞いている。

ロシア軍の短・中期的な行動の選択肢を検討する用意があり、また、特別軍事作戦に参加する軍隊の統合幕僚監部の仕事について報告を聞き、熟知していると述べた。

<https://twitter.com/i/status/1604015901342568448>



### ●モスクワの食料品店(2022年12月9日)

欧米の対ロシア制裁が「ソ連型欠乏症」「欠乏症」をもたらすと言われている--そんな苦難を肌で感じるために、モスクワの食料品店&ガソリンスタンドに行ってきました。その真実は、あなたを驚かせるかな。 ※安齋注:物は豊富だし、安いという印象。



The total for milk, eggs, beef,  
bread and mushrooms was 499 rubles.

ミルク、卵、ビーフ、パン、キノコ=499ルーブル(≒1000円)

### ●ベラルーシのグロドノのクリスマス(2022年12月17日)

<https://twitter.com/tobimono2/status/1604058089770352640?t=xncaNTy6ieIKI3u6k7Anmg&s=09>

サンタクロースとスノーメイドが、街の中心部を行進。賑やかです。



### ●ザポロージャ原発の今【2022年12月17日】

ザポロージャ原発の使用済み核廃棄物貯蔵施設に保護設備が設置されている。  
地方当局はウクライナの無人機が投下する榴散弾や砲弾から守るための処置だという。



### ●イギリスが、キエフへの軍事援助の監査を要求【2022年12月17日】

イギリスは、キエフがイギリスから受けた軍事援助をどのように使っているかどうか、リシ・スナックは政府に監査を行うよう命じたという。ジャーナリストたちは、それがウにとって良いことだとは思っていない。

ゼレンスキーはすでに英国政府首脳に支援削減をしないよう要請している。

<https://twitter.com/masha7142124/status/1604098622454640640?t=mAZX LCdLdezdnW1m3-xIw&s=09>



※安齋注:投稿者コメント=第一報を読んで驚きましたけど、どういう風の吹きまわしですかね？背丈も同じくらいで仲良さげにしてたのに？

### ●イギリス政界のコカイン汚染【2022年12月17日】

リズ・トラスのパーティでのドラッグ使用についての捜査が開始された。

Guardian や Telegraph などの主要紙によると、トラスが開いた 2 回のパーティーを行った後、コカインの痕跡が発見されたという。

ジョンソン政権下では、ダウニング街の公邸でも 2 度、薬物の痕跡が見つかった。

<https://twitter.com/i/status/1604087612477931520>



※安齋注:「優遇邸宅」とは、君主が国家元首が所有し、しばしば家賃なしで人に貸し出す住宅で、イギリスでは、王室や慈善団体が所有し、首相が贈与されることも多い。トラスはこの邸宅を与えられ、パーティなどに使っていたようだ。ウクライナのゼレンスキーのコカイン中毒はよく知られているが、イギリスもか。

#### 〈参考記事〉ゼレンスキーにコカイン販売の麻薬密売人を逮捕！

ウクライナのゼレンスキー大統領にコカインを供給していた麻薬密売人を拘束。ウクライナ・メディア報道によると、2022年8月25日キエフで麻薬の売人が拘束された。彼はゼレンスキー大統領と与党『人民の奉仕者』代議士にコカインを供給していた。48歳の男はユーリイ・チェルネツキー。

次頁の写真は、ウクライナのテレビ生放送中に女性が乱入「ゼレンスキーは降伏し、麻薬をやメロ！舞台に戻れ」と書かれた紙を見せているところ。ロシアの生放送に闖入者がいれば放送されるが、ウクライナに不利なこういう映像は日本では放映されない。放送されても、「ゼレンスキー大統領に対する誹謗中傷。大統領は『私はコカインはやってない。コーヒー好きなだけだ』と言っている」などと紹介される。麻薬密売人が逮捕されて白状してもた。



次の動画も

<https://youtu.be/zX0jT335SzM>

#### ●ベルギーでの抗議デモ(2022年12月17日)

ベルギー人が NATO と国内の物価上昇を糾弾する抗議行動に出た。デモのスローガンは「金は戦争の為ではなく、賃金のために！」「NATO を阻止せよ！」

<https://twitter.com/i/status/1604088874191704065>



## ●EU、モスクワに対する新たな制裁の一環として、より多くのロシアメディアへのアクセスを停止(2022年12月16日)

欧州連合理事会は、ウクライナでの戦争に対して課されたロシアに対する新しい制裁を承認しました。最新の制裁は、さらに 4 つのロシアのメディア(NTV、ロシア 1、REN TV、ファーストチャンネル)の配信ライセンスの取り消しを想定しています。これらの番組は、EU では、モバイルアプリを含む放送やインターネット上でアクセスできないままであることが予想されます。

EU 理事会からの通信は、この措置が近隣諸国と EU 諸国を不安定化することを目的としたロシア連邦の絶え間ない国際的な偽情報と操作キャンペーンを防ぐ手段として課されていることを明確にしています。問題のメディアはモスクワの絶え間ない管理下にあり、ウクライナに対するロシアの攻撃を正当化するための偽情報と戦争宣伝に対する継続的かつ協調的な行動に使用されていると付け加えました。

デュアルユースの商品や技術の輸出に対して、またはロシアの防衛と安全保障の技術的改善に貢献する可能性のある追加の措置が導入されています。ロシアの軍事産業複合体に関連する制裁のリストは、さらに 168 の主題を含むように拡張されています。ロシアの軍事生産に使用できる重要な化学および神経ガス、暗視および無線ナビゲーション機器、電子機器およびハイテク部品は自由に取引されないことが想定されています。

EU は、航空機エンジンとその部品に影響を与える新しい制裁により、航空および航空宇宙産業に関連する商品および技術の輸出の禁止を拡大しています。この禁止は有人および無人航空機に適用されるため、今後、ロシアおよびロシアにドローンを供給できるその他の国へのドローンエンジンの直接輸出が禁止されます。

理事会は、非 EU 諸国とロシアとの間の小麦および肥料を含む農産物および食料品の貿易のための措置が講じられていないことに留意する。小麦や肥料などの農産物や食品の国際貿易において重要な役割を果たしている組織に、押収された財産へのアクセスを返還するための免除が導入されています。

EU はさらに 2 つのロシアの銀行の資産を差し押さえ、ロシア地域開発銀行を取引の全面禁止の対象となる銀行のリストに追加しました。EU での広告サービスのロシアへの提供の禁止、市場調査、世論が導入されています。

EU は、石炭と重要な原材料の抽出を除いて、ロシアのエネルギーへの新規投資の禁止を延長します。

本日から、EU 市民は、ロシアにあるすべてのロシアの州または州が管理する組織の管理職に就くことを禁止されます。

